

## 第651回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

### 1 千葉市蘇我スポーツ公園建設事業

- ・蘇我スポーツ公園は、防災公園街区整備事業により整備を実施。
- ・防災公園としての蘇我スポーツ公園整備は、平成33年度末までの事業期間で実施しており、平成30年4月現在、計画面積約46haのうち約34haが供用。
- ・蘇我スポーツ公園は、ICTを活用して盛土施工を実施。
- ・ICT建機の活用により、日々の出来形が手早く正確に算出されたことで、約25日間の工期短縮が図られ、盛土管理のみならず、施設整備の安全と品質の確保にも寄与できた。
- ・ICTを活用した工事は終了しているが、現在、野球場として多目的グラウンドを整備しており、多くの市民へスポーツ振興を促し、防災公園としての大きな役割を果たすため、鋭意事業を実施。

..... 千葉市中央区



### 2 江戸川第一終末処理場整備事業

- ・江戸川第一終末処理場は、生活環境の改善や公共用水域を保全するために、昭和56年から供用している江戸川第二終末処理場と合わせて、江戸川左岸流域の8市（市川市・船橋市・松戸市・野田市・柏市・流山市・鎌ヶ谷市・浦安市）からの汚水（1日平均約56万m<sup>3</sup>）を処理するものである。（第一終末処理場の計画処理量 1日平均約20万m<sup>3</sup>）
- ・江戸川第一終末処理場は、現在第1期計画として1日平均約2万m<sup>3</sup>の汚水を処理できる施設建設を実施しており、その後8市から流入する汚水量の増加に合わせて処理施設を増設していく。
- ・処理方式として、凝集剤併用型ステップ流入式多段硝化脱窒法＋急速ろ過法を採用している。
- ・処理された汚水は、旧江戸川へと放流される。

..... 市川市本行徳等



### 3 建設技術展示館

- ・関東地方整備局では、新技術の効率的・効果的かつ適切な活用の推進と整備局の事業紹介等を目的に平成11年度から「建設技術展示館」を常設で開設している。
- ・労働人口の減少と高齢化問題や景気の低迷による建設投資額の減少から建設業界の担い手減少といった危機的な状況が大きな課題となっており、その解決策として、「担い手確保」への取組に関する展示や社会資本の効率的・効果的な施工時の品質管理や維持管理の向上及び労働人口をサポートするために必要となる「生産性向上（i-Construction）」に視点を向けた展示を実施。
- ・トンネルの建設に使用されるシールド機や橋梁の点検を行う橋梁点検車等を展示。
- ・昭和43年に開発された約50年前の水陸両用ブルドーザ、や泥水式シールド機のほか、災害時に出勤する車両等が屋外に展示されている。

..... 松戸市五香

